

## 2 ご登壇ゲスト

### (1) 吉田大八 (よしだ だいはち) 監督プロフィール

1963年生まれ。大学卒業後、CMディレクターとして活動。

「男の子はみんな飛行機が好き」「ミツワ」などの短編を経て2007年「肺抜けども、悲しみの愛を見せろ」で長編映画デビュー。第60回カンヌ国際映画祭の批評家週間部門に招待された。「桐島、部活やめるってよ」(2012)で第36回日本アカデミー賞最優秀作品賞、最優秀監督賞受賞。「紙の月」(2014)で第38回日本アカデミー賞優秀監督賞受賞。

その他の監督作として「クヒオ大佐」(2009)、「パーマ ネット野ばら」(2010)、「美しい星」(2017)、「羊の木」(2018)は第22回釜山国際映画祭においてキム・ジソク賞受賞。最新作は「騙し絵の牙」(2021)。

舞台では「ぬるい毒」(2013)脚本・演出、「クヒオ大佐の妻」(2017)作・演出。ドラマ監督作品に「離婚なふたり」(テレビ朝日 2019)がある。



### (2) 御木茂則 (みき しげのり) 氏プロフィール

映画カメラマン/1969年生まれ。日本映画学校(現・日本映画大学)卒業後、丸池納氏に師事。撮影助手として黒沢清監督の『勝手にしやがれ!! 強奪計画』(95)、『勝手にしやがれ!! 脱出計画』(95)『7人のおたく』(山田大樹監督/92)、CMでは上田義彦氏などの作品に携わる。石井岳龍監督の『バンク特、切られて候』(18)に撮影補として携わる他、『孤独な惑星』(筒井武文監督/11)『俺を見にいく』(沖田修一監督/14)『彼女はひとり』(中川葉月/18)『Diamonds in the sand』(Janus Victoria 監督/24)などで照明技師としても活躍。『希望の園』(園子温監督/12)『火だるま槐多』(上野尚彦監督/22)では撮影。『クモとサル』(長瀬佳也監督/23)では戸澤明子氏と共同撮影。著書に『映画のタネとシカケ』がある。



日本映画撮影監督協会 理事/神戸芸術工科大学・京都芸術大学 非常勤講師 2023年度文化庁在外研修員

### (3) 若者団体の皆様 (各団体の代表者)

#### ア KITA9PR部

『阿世代にも北九州市の魅力をもっと知ってほしい』との思いで集まった。1.8歳から20代を中心とした学生・社会人グループ。

#### イ Kitakyu U29

29歳以下の若者が集まり、まちづくりに関心・意欲を持つ学生等や学生団体の連携と活動を促進して、学生団体等が北九州市の未来のために、あたらしいことに主体的かつ継続的に挑戦するグループ。

## (文章訂正のお知らせ)

令和5年11月24日に発表した左記の資料中(2/3)、枠囲みの箇所を下記のとおり訂正いたします。

### 【訂正前】

『火だるま槐多』



### 【訂正後】

『火だるま槐多よ』

(お問い合わせ先)

北九州国際映画祭実行委員会事務局

市民文化スポーツ局文化企画課

担当：村田、堀池 電話：093-582-2389